

勝負とは巖しきところに身をさらし

窮地を生きる法の修行ぞ

勝ち負けを捨てて技の理求むれば

得るもの多く 負けもまたよし

易きをば求めその身を護りなば

得るもの浅く ただの意駄骨

丹田に溜めた岡志は内に秘め

そつとその身を寄せてみるべし

攻めるとは打つ気を見せず眼を澄まし

そつとその身を寄せるが如し

中心を穿つて相手を動かして

起こり頭は許さずに打て

お相手の打つ気を察知したならば

怯えず我が身を半歩出さずべし

身を捨てて真面に打つて出るときは

背筋のばして弓手にて打て

面技に忘れ返して打つ胴は

体を開いて切り手にて打て

ひとたびで事の成ることまずは意し

氣勢ゆるめず尽きるまで行け

剣交え我の不足を知らしめし

君に感謝す心の底から

平成二十八年正月